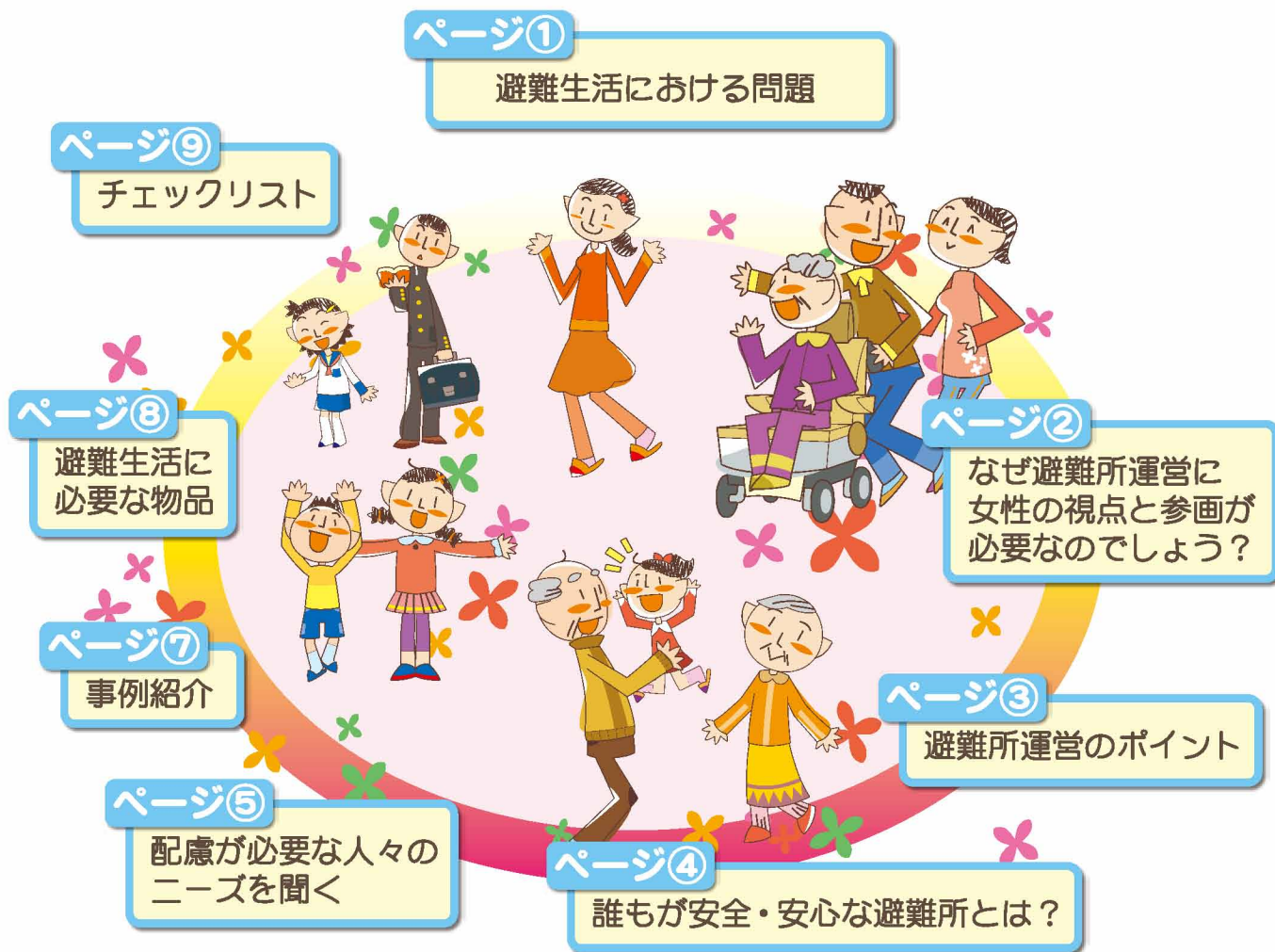


# 大規模災害から命と暮らしを守るための 避難所運営の手引き

～男女共同参画の視点を取り入れて～



この避難所運営の手引きは、東日本大震災などの大規模災害の経験や課題を踏まえ作成したものです。

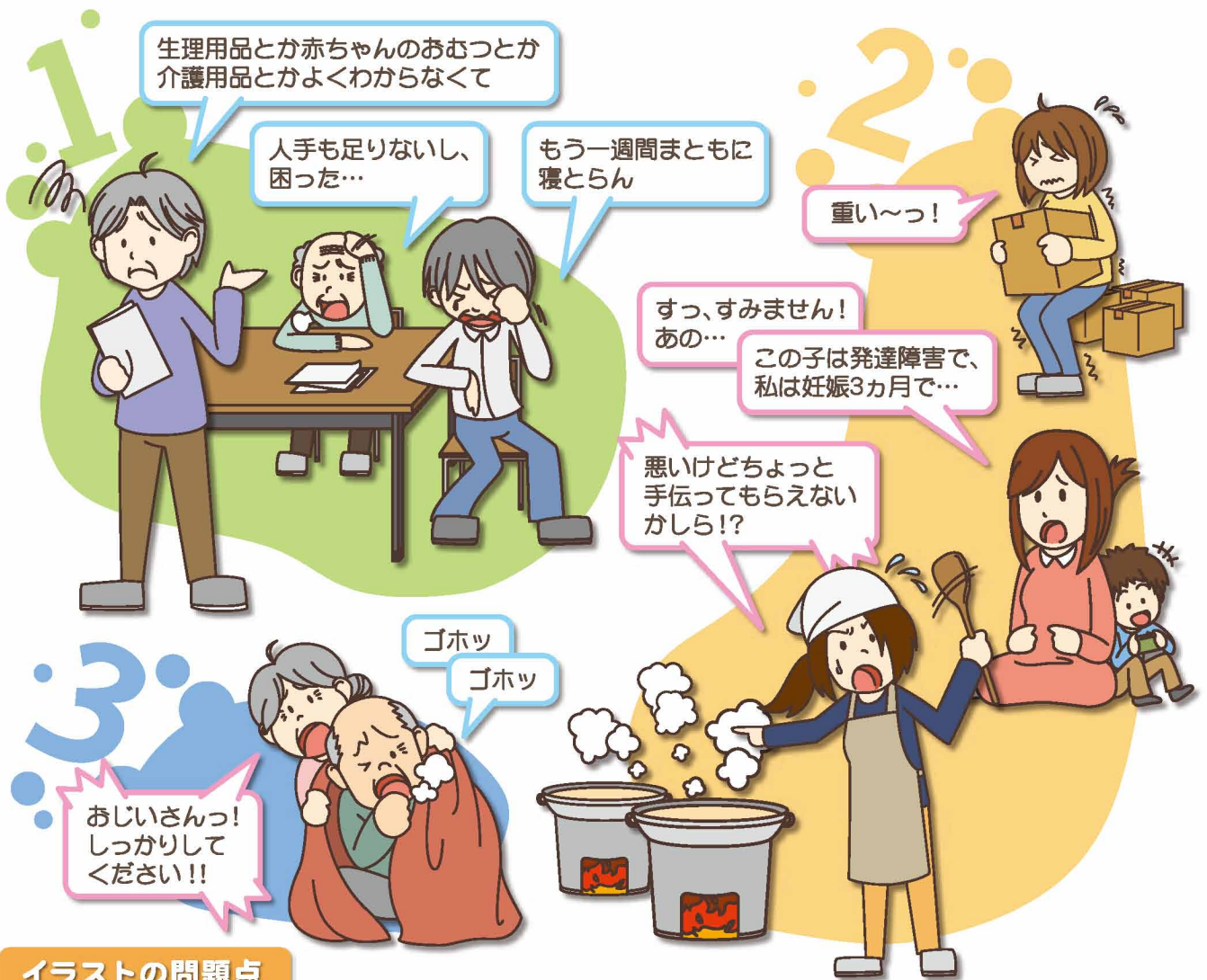
介護や子育て、障害者支援など地域の安全・安心を守るためには女性の声も欠かせません。そのため、平常時より男女共同参画の視点からの災害対応について理解しておくことが重要です。

この度、トイレ・衛生・防犯対策など、女性や要配慮者にもやさしい避難所運営の手引きを作成しました。女性リーダーと防災担当者が一緒に話し合い、各地区で作成している防災マニュアルなどに盛り込むための参考としていただければ幸いです。

# 1. 避難生活における問題

- 避難所は、在宅避難者の支援も含めて、避難生活者のみなさんの命と暮らしを守る地域の災害対応の拠点です。
- 健康を維持し、安全・安心な避難所運営を行うためにも、地域に暮らす多様な人たちの視点に立った運営をしていくことが求められています。（例：介護、育児、慢性疾患、障害者など）
- 家庭生活の知識や、経験が豊かな女性の意見も反映されるよう、リーダー層に女性を増やしていくことも、住民の命と健康を守ることに直結します。

## この避難所運営の問題は、どこにありますか？



## イラストの問題点

- ① 地域の少数の男性役員が責任を一手に引き受け、疲労困ぱいしている。
- ② 妊娠初期の女性、育児、炊き出し、食材の運搬などにおわれ、女性も疲労困ぱいしている。
- ③ 高齢者・慢性疾患の人・障害者が健康を損ねたり、つらい状況に置かれても、相談できていない。

## 2. なぜ、避難所運営に女性の視点と参画が必要なのでしょう？

### 避難所運営づくりのポイント

- 女性と男性、両方の責任者・リーダーを配置しましょう。
- 役割ごとに班をつくり、性別が偏らないように女性も男性も共に入るようにしましょう。
- 生活者や少数派の視点に立ったニーズが把握できるように、多様な立場の代表が入る形で会議を実施しましょう。
- さまざまな事情で在宅避難している人への物資の配分にも配慮しましょう。



### 避難所生活で起こるさまざまな問題

避難所運営の意思決定が男性だけで、女性のリーダーがいないと、さまざまな問題が生じます。

●避難所生活に必要な配慮・環境は男女で異なります。プライバシー・衛生・安全面で被災地での女性の環境は厳しいものであった。

- 男女ともに着替えの部屋がなかった。
- 生理用品・衛生用品が不足し、生理の際に困った。
- 性犯罪の被害に遭った。

●避難所生活での、衛生や栄養の問題があった。

- ノロウイルスや食中毒の問題が心配。
- 子どもが食物アレルギーで避難所の食事が食べられない。
- 離乳食・トロミ食・低塩分食がない。

●乳幼児、介助・介護などの配慮が必要な家族がいる場合、意見を言う場がない、相談しやすい人がいない可能性があります。

介護用のLLのおむつが必要なのに言い出せない。



赤ちゃんが泣くので避難所を出ざるを得ない。

子どもが騒ぐと怒鳴る大人がいて、子どもたちがストレスで体調面に異変をおこしたケースもある。

粉ミルクがあっても哺乳瓶と消毒剤がない。授乳スペースがない。



仮設トイレは和式もあり、手すりがないので使い辛い。



寝たきりの親や認知症の夫を抱えているため、壊れた家で暮らしている。



### 3. 避難所運営のポイント (詳しくは9ページ以降のチェックシートを参照してください)

#### (1) 多様な人々が一緒に過ごせる場所づくり

避難所生活の要望	要望が言い出せず、健康リスクが高まり、命を落とすことにもなりかねません。(特に、高齢者・障害者・子ども・病気の人・女性など)
負担の偏りの解消	一部の男性役員たちに責任が集中する形では過労傾向となる上、衛生・栄養・介護・育児などの知識・経験が避難所運営に活かされず、全体にも影響がでます。
平等な役割分担	誰でもできることは性別や年齢に関係なく担ってもらい(例：炊き出し)、女性リーダーを登用したり、障害者や介護経験者にも運営に参画してもらいましょう。

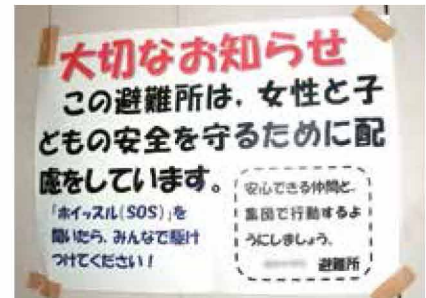
さまざまな情報・支援物資が避難所に集まります。日頃から地域でどのように対応するかを考えておくことが大切です。

#### (2) 施設の使い方

平常時から、地域住民および施設管理者と、施設の利用やレイアウト、運営方法等について話し合いを持っておきましょう。特に、右のページの必要と考えられる個別のスペースを含めて、女性の参加のもとで決めるべきものが多くありますので、チェックシート(9・10ページ参照)で確認してください。

#### (3) 暴力防止・安全の確保(性暴力も含む)

- ・生活環境の激変によるDVやセクハラ、ストーカー、性暴力、虐待を防ぐことが大切です。
- ・災害直後の段階から、照明をしっかりと確保できるようにしましょう。
- ・昼夜問わず、大勢の人がいる場所でも暴力・性暴力は起こり得ます。暴力・性暴力を許さない環境づくりが大切です。
- ・防犯担当も男女両方が担い、特に被害を受けやすい女性と子どもが相談しやすい安全な環境改善に努めましょう。
- ・犯罪行為は許されないこと、何か問題に気づいたらすぐに通報できるよう、警察との連携、見回りの強化、防犯ブザーの配布などを積極的に行いましょう。



#### (4) 心身の健康の維持

- ・過労による心身の疲れや辛さを和らげるよう、休息のための時間・空間を確保しましょう。
- ・責任や作業は一部の人で抱えこまずに、みんなで分担して行いましょう。
- ・災害関連死を防ぐために、見守りや声掛けをしましょう。
- ・身体機能維持とエコノミー症候群の防止のために、衛生・育児・介護およびトイレ環境の整備、水分補給の徹底とともに、軽い運動や散歩を行いましょう。

#### (5) トイレ・衛生

トイレ	男女別に分け、設置数は男性トイレ：女性トイレ = 1：3の割合を目指しましょう。
	介助が必要な人や性同一性障害の人にも使える多目的トイレを設置しましょう。
衛生	災害直後から衛生対応として、トイレ(汚物処理・清掃)と感染症対策についても住民で取り組むことができるようにしておきましょう。

## 4. 誰もが安全・安心な避難所とは？

### 必要と考えられる個別のスペース(例)

平常時から、施設管理者と施設の利用やレイアウトなどについて話し合いを持っておきましょう。  
 「必要と考えられるスペース」は、マニュアルを改訂する際に、会議室などを借りられるよう学校と協議調整しておくことも大切です。

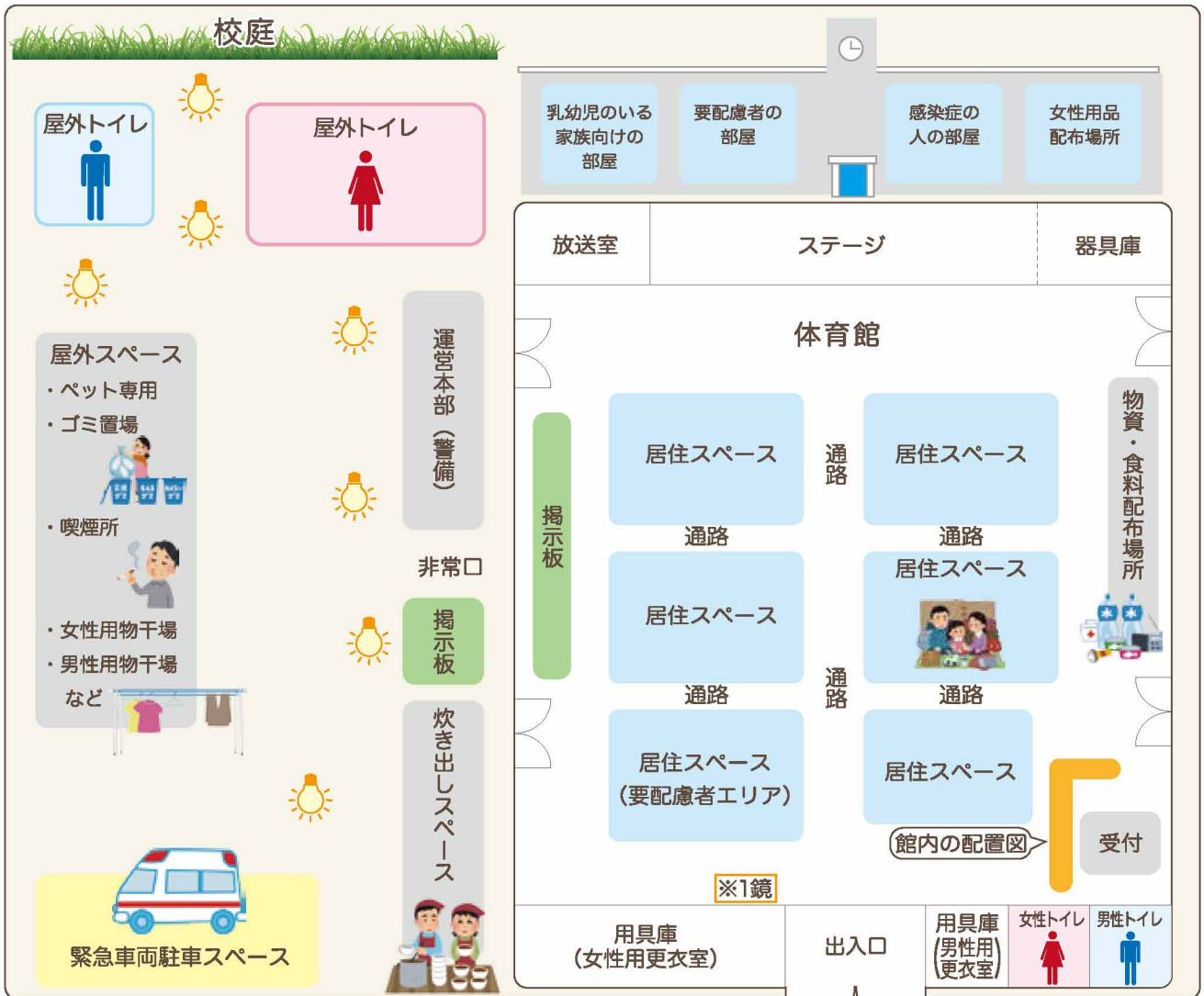
- 男女別の更衣室・休憩・相談室    ● 女性用品の配布場所    ● 単身女性や母子家庭向け
- 介護・介助が必要な人向け(高齢者・障害者)    ● 感染症の人など看護向け
- 授乳・おむつ替え向け    ● 子ども向け(勉強・遊びなど)    ● 乳幼児のいる家族向け

※1 鏡などの物品は余震などで倒れるので設置箇所を考えましょう ※2 補助犬などについても、事前に協議調整しておきましょう



「プライバシールーム」  
 着替えや授乳等として使用するために  
 各防災倉庫に設置。

### レイアウトの例 (校舎の利用についても施設管理者と事前に協議しましょう)



**給水** 生存に必要な摂取量 → 一人当たり 2.5ℓ～3ℓ/日

水の使用判断例	飲料用・調理用	手洗い用 洗顔・歯磨き用 食器洗い用	風呂用・洗濯用	トイレ用
飲料用 (ペットボトル)	◎	○	△	△
避難所の受水槽	◎ (学校が長期休みの際は 使用不可)	◎ (学校が長期休みの際は 使用不可)	○ (学校が長期休みの際は 使用不可)	○
給水車の水	◎	◎	○	○
井戸水	△	△	△	◎
プールの水、河川の水	×	×	×	◎

◎: 最適な使い方 ○: 使用可 △: 含有成分によっては使用不可 ×: 使用不可 ※トイレが確保できたら、ルールを決めて衛生的に使用しましょう

## 5. 配慮が必要な人々のニーズを聞く

避難所では、困りごとや不足している物資に関する要望をなかなか口にできません。特に、女性や高齢者は、困っていても我慢しがちで、ニーズを知ることは容易ではありません。誰にとっても、安全・安心な避難所であるためには、みんなで協力し、意見の言いやすい環境をつくりましょう。

### こんなことに気をつけて

#### 女性

##### ■困っていること

- プライバシー、トイレ、生理用品
- 下着を干す場所、治安面の不安
- 家族の世話、保育、介護

##### ■必要とする支援・配慮

- 男女別更衣室、トイレ
- 女性専用の物干し場
- 物資の女性担当者
- 防犯対策



#### 乳幼児・妊産婦

##### ■困っていること

- おむつ、衛生用品（ウェットティッシュ等）
- 粉ミルク（お湯、哺乳瓶、消毒剤）、離乳食
- おもちゃ、遊び場、授乳場所
- 妊産婦は安静が必要
- 栄養面、寒さ、医療・生育面の不安

##### ■必要とする支援・配慮

- 衣類、毛布の配慮（多めに）
- 医療支援、相談支援
- 授乳室、オムツ替えの場所、温かい部屋
- 間仕切り



#### 保育園児・幼稚園児・小学生

##### ■困っていること

- おもちゃ、遊び場
- 環境変化に対する不安、赤ちゃん返り、甘えてしまう

##### ■必要とする支援

- 親子で安心して過ごせる時間・場所の確保
- 心理面の専門支援
- 親やボランティアによる支援



#### 中学生・高校生

##### ■困っていること

- 周辺環境や、将来への不安、進学悩み
- 親への気遣い、避難所の運営参加で疲労（言い出せない）

##### ■必要とする支援

- 中高生代表者（男女）にも避難所運営に参画してもらい意見が言えるようにする
- 勉強スペースの確保
- 親の支援や心理面の専門支援



#### 高齢者、介護や看護を必要とする方

##### ■困っていること

- 食事、排泄、着替えなどの日常生活全般
- 階段や段差がある、手すりが無い
- 床での寝起きや座ること
- 薬、病気のこと ● 周囲への気遣い

##### ■必要とする支援

- おむつ、衛生用品、スプーン、ストローなどの介助補助具
- 洋式トイレ、ベッドやいす、手すり、杖
- 医療支援や家族への声掛け
- 介助者や付き添い、話し相手 ● 間仕切り
- 食事、排泄、着替えなどの介助

#### 認知症の方

##### ■困っていること

- 状況が理解できない、判断できない、不安・要望が伝えられない
- 感情の起伏、記憶の欠落、徘徊
- 周囲への気遣い（家族）

##### ■必要とする支援・配慮

- 落ち着ける部屋、家族と同居
- 医療支援や家族への声掛け

